

# 水と川とともに 住み続けられるまちづくり



新・六角川水系流域治水プロジェクト  
六角川水系流域治水協議会

水災害に強く  
住み続けられる  
まちづくり

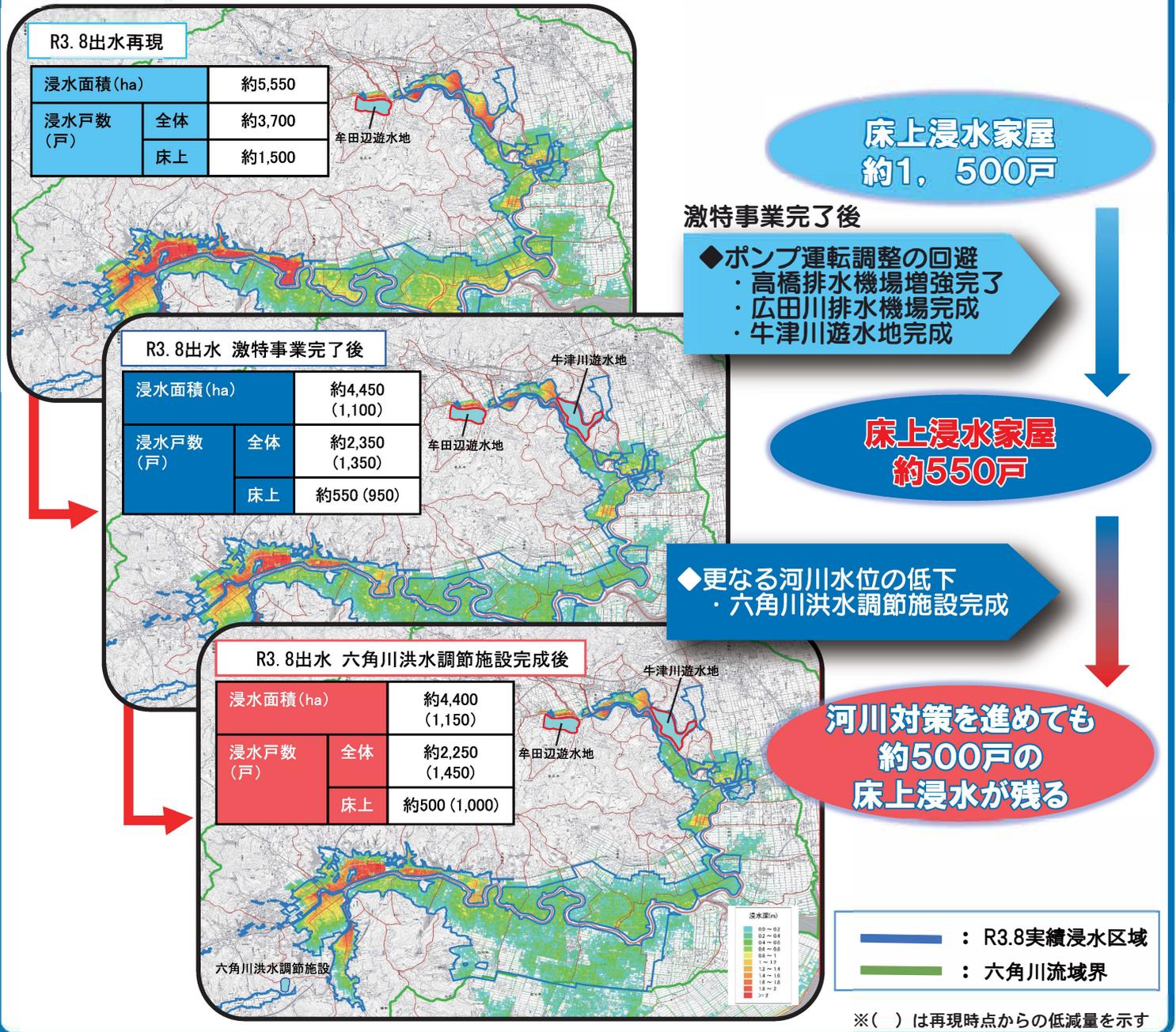


# 永住可能な“ふるさと”を守り・育てるために

令和3年8月出水では、六角川の平地部の大半が浸水し、大規模な家屋浸水被害が発生しました。

これまで進めてきた六角川水系の河川対策を継続した場合において、六角川・牛津川の氾濫は防ぐことができますが、支川や用水路の氾濫により約1,500戸の床上浸水家屋を約500戸に軽減することしかできません。

## 河川対策を重点的に進めたとしても、浸水被害は残る！



これまでの河川対策に加え、住まい方を工夫するなど、まちづくりと河川対策が調和した「流域治水」への転換が求められています。

六角川流域の特徴や治水上の課題等を踏まえ、六角川水系における今後の水災害対策について、国・県・市町が連携し、「新・六角川水系流域治水プロジェクト」を新たにとりまとめました。

六角川水系の流域治水の理念に基づき、水災害に強いまちづくりを目指して、各種取組を推進します。

## 新・六角川水系流域治水プロジェクトの理念

気候変動が進む中、将来の自然災害等の外力増大や社会構造の変化など、不確定要素が介在することを前提として、住民生活の基盤を安定的に持続させるための「水災害に強いまちづくり」を目指します。

### 社会基盤

- 六角川水系における水災害防止・軽減機能を有する社会資本整備を加速化
- 今後も激変する気候や社会構造下における持続可能な社会資本の機能向上や賢い活用

### 住民意識

- 流域が培ってきた水とのつきあい方を理解し、既存施設の利活用や水と共存した地域の暮らし方を構築

### 目指すべき到達点

- 社会基盤の構築や住民意識の醸成など多層的な取り組みによる永住可能な“まち（ふるさと）”の再興・創造

## 新・六角川水系流域治水プロジェクトの3つの柱

### ～水災害に強いまちづくりのために～

#### ～1つ目の柱～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### 【主な取組メニュー】

- ◆河川水位を低下させるための取組
- ◆施設規模を上回る洪水に対する取組
- ◆既存施設を活用した洪水被害軽減対策
- ◆河道・管理施設等の適切な維持管理
- ◆支川の流出抑制・氾濫抑制の取組
- ◆既存排水機場の耐水化の取組
- ◆浸水被害を軽減する取組

#### ～2つ目の柱～

被害対象を減少させるための対策

#### 【主な取組メニュー】

- ◆住まい方の工夫に関する取組
- ◆堤防空間を活用した防災機能向上対策（緊急待避場）
- ◆土地利用のルールづくり

#### ～3つ目の柱～

被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

#### 【主な取組メニュー】

- ◆被災施設等の迅速な復旧
- ◆堤防空間を活用した防災機能向上対策（水防用アクセス路）
- ◆“逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備
- ◆災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- ◆防災教育や防災知識の普及に関する取組
- ◆要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- ◆大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

※対策の推進にあたっては、特定都市河川浸水被害対策法等も活用していきます。

住民の方々や企業等の皆様と一緒に考えながら推進

## 新・六角川水系流域治水プロジェクトのロードマップ

～住民の方々や企業等を含む流域のみなさまと考えながら推進します～

区分	工程		
	短期 (1～2年)	中期 (概ね 5年～)	長期 (概ね 20年～)
<b>◆氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</b>			
河川水位を低下させるための取組 (河道掘削・樹木伐採、遊水地、引堤など)	→	→	→
施設規模を上回る洪水に対する取組 (堤防裏法尻の補強・堤防天端舗装など)	→	→	→
既存施設を活用した洪水被害軽減対策 (排水機場等の遠隔化など)	→	→	→
河道・管理施設等の適切な維持管理 (河道内の堆積土砂撤去、樹木・ヨシ等植生管理など)	→	→	→
支川の流出抑制・氾濫抑制の取組 (ため池・クリークの活用、田んぼダムや内水調整池の整備など)	→	→	→
既存排水機場の耐水化の取組 (防水壁の設置など)	→	→	→
浸水被害を軽減する取組 (排水機場の整備・増設、排水ポンプ車等の整備、排水機場の運用の見直しなど)	→	→	→
<b>◆被害対象を減少させるための対策</b>			
住まい方の工夫に関する取組 (住宅・事業所の浸水対策の補助、都市計画マスタープランの見直し、官民連携での宅地造成（高台移転）など)	→	→	→
堤防空間を活用した防災機能向上対策 (車両等の緊急待避場の整備など)	→	→	→
土地利用のルールづくり (貯留機能保全区域や浸水被害防止区域など)	→	→	→
<b>◆被害の軽減・早期復旧・復興のための対策</b>			
被災施設等の迅速な復旧	→	→	→
堤防空間を活用した防災機能向上対策 (水防用アクセス路の整備など)	→	→	→
“逃げ遅れゼロ”へ向けた情報発信システム等の整備	→	→	→
災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組	→	→	→
防災情報や防災知識の普及に関する取組	→	→	→
要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進	→	→	→
大規模災害時における迅速な復旧支援の取組	→	→	→
<b>◆グリーンインフラの取り組み</b>			
治水対策における多自然川づくりと生態系の保全	→	→	→

※対策の推進にあたっては、特定都市河川浸水被害対策法等も活用していきます。

# 新・六角川水系流域治水プロジェクト【対策一覧】

- ①: 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ②: 被害対象を減少させるための対策
- ③: 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

◆武雄市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 六角川洪水調節施設の整備
- ため池等既存施設の有効活用
- 田んぼダムの整備
- 内水調整池や雨水貯留施設等の整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 土砂や流木の流出抑制対策
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
- 水害に強い住まいづくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 堤防空間を活用した防災機能向上対策
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆大町町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 堤防空間を活用した防災機能向上対策
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進

◆多久市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆伊万里市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 土砂や流木の流出抑制対策
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
- 水害に強い住まいづくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 堤防空間を活用した防災機能向上対策
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆国土交通省

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 遊水地等の洪水調節施設の整備
- 洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進
- 危機管理型ハード対策
- 堰、排水機場等の遠隔操作化、樋管等の無動力化
- 既存施設の洪水被害軽減に必要な更なる対策
- 堤防や堰、水門等の適切な維持管理
- 河道内の堆積土砂の撤去、樹木・ヨシ等の植生管理
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備
- 六角川水系河川整備基本方針の変更
- 六角川水系河川整備計画の変更

② 被害対象を減少させるための対策

- 住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆唐津市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆多久市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆大町町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 堤防空間を活用した防災機能向上対策
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進

◆江北町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 排水計画の作成
- 田んぼダムの整備
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進

◆江北町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 排水計画の作成
- 田んぼダムの整備
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進

◆白石町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堰、排水機場等の遠隔操作化、樋管等の無動力化
- 既存施設の洪水被害軽減に必要な更なる対策
- 堤防や堰、水門等の適切な維持管理
- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 流域治水推進計画の作成
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 水害に強い住まいづくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆小城市

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 牛津川遊水地の整備
- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの整備
- 森林の整備・保全
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆江北町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 排水計画の作成
- 田んぼダムの整備
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進

◆白石町

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堰、排水機場等の遠隔操作化、樋管等の無動力化
- 既存施設の洪水被害軽減に必要な更なる対策
- 堤防や堰、水門等の適切な維持管理
- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 流域治水推進計画の作成
- 支川、水路における氾濫抑制対策
- 森林の整備・保全
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 水害に強い住まいづくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

◆佐賀県

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進
- 危機管理型ハード対策
- 河川管理施設等の機能向上（遠隔操作化、耐水化等）
- 堤防や堰、水門等の適切な維持管理
- 河道内の堆積土砂の撤去、樹木・ヨシ等の植生管理
- ため池等既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保
- 田んぼダムの推進
- 森林の整備・保全
- 土砂や流木の流出抑制対策
- 排水機場の耐水化の推進
- 排水機場や排水ポンプ車等の整備

② 被害対象を減少させるための対策

- 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
- 住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの推進
- 不動産関係団体への水害リスク情報の提供等

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

- 被災施設等の迅速な復旧
- 「逃げ遅れゼロ」へ向けた情報発信システム等の整備
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

凡例

- 六角川流域界
- 直轄管理河川
- 県管理河川
- 市町界
- R3.8六角川洪水調整施設完成後浸水範囲

※白石町については想定氾濫域を含んでいます。

※対策の推進にあたっては、特定都市河川浸水被害対策法等も活用していきます。